



2 栄東まちづくりの会（中区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	栄東まちづくりの会
2 事業名	落書きの消去・防止による地域の環境美化活動を通じた住宅対象侵入盗などの犯罪防止事業
3 事業実施 結果	<p>落書きの消去・防止を始めとした地域の環境美化活動を通じて、犯罪を許さない・見逃さない地域であることを示すことで、住宅対象侵入盗などの犯罪を減少させるため、次のとおり事業を実施した。</p> <p>1 パトロール体制の強化（A事業）</p> <p>○ 落書きの被害防止を図るとともに活動への共通認識を高めるために、最低月1回、主に平日の夜間などに、違法駐輪自転車追放の啓発活動と違法であるという告知のエフ付け活動と併せて、落書き被害が多い箇所を中心にパトロール活動を実施し被害防止に取り組んだ。</p> <p style="text-align: center;">8月24日 9月28日 10月26日 11月24日 12月 1日 12月14日・15日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="413 1397 874 1760">  <p style="text-align: center;">夜間パトロール</p> </div> <div data-bbox="930 1397 1430 1760">  <p style="text-align: center;">放置自転車注意喚起エフ</p> </div> </div>

- 落書き消し活動に従事する「栄東まちづくりの会」の会員や地域の企業、団体等と連携するため、ジャンパー・帽子を購入し、落書き消し隊活動に役立て、地域住民および企業団体の意識高揚を図った。



ジャンパー



帽子

2 落書き被害を防止するための看板等の設置や街頭啓発活動の実施による地域の防犯意識の高揚（B事業）

- 落書きの被害が多発する箇所へポスターを掲示し、地域住民の落書き防止意識の高揚を図った。なお、ポスターは随時場所を変えて啓発に取り組んだ。また、防犯意識を高めるために、防犯グッズとして防犯標語の入ったトイレトペーパーや自転車盗難防止のための補助錠の配布も実施。



落書き防止啓発ポスター



防犯啓発用トイレトペーパー

3 落書き消去による環境美化活動（E事業）

- 住宅対象侵入盗などの犯罪を誘発する要因となる落書きの消去活動を実施。活動は会員だけでなく、地元の商店、企業などの他団体にも広く連携を呼びかけ、企業関係者の多くの方々に参加をしていただき、地域を挙げた活動として展開していくことができた。

10月21日

11月25日



落書き消し隊活動

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>「栄東まちづくりの会」の活動区域である栄東地域は、ビルの外壁やシャッター、コインパーキングなどに多くの落書きがあり、「割れ窓理論」で言われるように、住宅対象侵入盗など他の犯罪を誘発する要因になっている。</p> <p>このため、落書きの消去・防止による地域の環境美化活動を通じて、住宅対象侵入盗などの犯罪を減少させるとともに、地域住民の落書き防止に対する意識高揚を図るため、落書き防止パトロールの体制強化、看板等の設置及び地域を挙げた落書きの消去活動を実施し、安心、安全で快適な犯罪のないまちづくりを進めていく活動に取り組んだ。</p> <p>今後の課題としては、「栄東まちづくりの会」の構成メンバーの高齢化に伴う後継者づくりが必要不可欠となっている。また、「栄東まちづくりの会」の事業は、防犯活動のみならず、春と秋に開催する地域懇話会、7月の池田公園夏祭りや10月の防災訓練、11月にはイルミネーションイベント、2月には防災防犯講習会を実施するなど、年間を通じて多くの事業を推進している。これらの事業を実施するにあたっては、経済的資源もさることながら人的資源の確保も喫緊の課題として直面している。</p> <p>栄4丁目と栄5丁目で構成をしている栄東地域は、栄4丁目が歓楽街、栄5丁目は居住している人も多い地域であり、いかに両者の融合を図ることが出来るかも大きな課題として捉えている。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>これまで「栄東まちづくりの会」は“楽しいまち・住みよいまち・住みたくなるまち”をスローガンとして掲げてさまざまな事業を展開してきた。安心、安全で快適な犯罪のないまちづくりには、これらの活動を地道に継続していくことが重要だと考えており、今後も引き続き、地域・事業者と行政が一体となった活動に取り組んでいく。また、近隣の専門学校や大学などとの連携も視野に入れながら人材確保にも努めていきたい。</p> <p>今後も、関係行政機関の指導をいただきながら安心・安全・快適なまちづくりに加え、まちの活性化に努めていきたいと考えている。</p>
----------------------------------	---